

令和6年度 事業報告

2025/05/30 第14回定時社員総会承認

令和6年（2024年）度事業報告

令和6年4月1日～令和7年3月31日

公益社団法人 雨水貯留浸透技術協会

令和6年（2024年）度事業の概要を下記のとおり報告する。

1. 会員の状況

2025年3月31日現在

会員の種類	期首	入会	退会	現在
正会員	24	0	1	23
賛助会員	45	3	1	47
計	69	3	2	70

入退会内訳

正会員

【入会】なし

【退会】(1社) 日本インシーク (株)

賛助会員

【入会】(3社) 日本植生 (株)、中央復建コンサルタント (株)、PUMPMAN (株)

【退会】(1社) 大成ロテック (株)

※4/1付けにて、岡三リビック (株) が入会

2. 社員総会、理事会等の開催

(1) 社員総会

・第13回定時社員総会

開催日：2024年5月31日 ベルサール神保町3F ROOM5

正会員総数：3名

出席等 出席会員数：18名 委任状：5名

議事 (決議事項)

第1号議案 令和5年度事業報告承認の

第2号議案 令和5年計算書類及び同附属明細書承認の件

第3号議案 令和6年度役員報酬承認の件

第4号議案 役員選任の件(定期改選)

(報告事項－第40回理事会決議事項)

令和6年度事業計画書報告の件

令和6年度収支予算書報告の件

◇決議事項4議案については、審議の結果事務局原案のとおり可決承認された。

(2) 理事会等

- ・ **社内監査** (2024年4月30日)

監事2名による、令和5年度の収支及び財産の状況並びに理事の業務執行状況について監査が行われ、いずれも適正であるとの承認を受けた。

- ・ **第41回理事会** (2024年5月13日)

上記理事会を決議の省略(書面決議)により開催し、第13回定時社員総会への提出議案である「令和5年度事業報告及び決算関係書類」の審議を行い、いずれも事務局原案通り全員一致で承認された。

- ・ **内閣府定期提出書類等の提出**

- ・ 変更届(役員改選による役員の届出)(2024年6月20日)
- ・ 令和5年度事業報告等関係書類(2024年6月26日)
- ・ 令和7年度事業計画、収支予算(2025年3月25日)

- ・ **第42回理事会** (2024年7月13日)

上記理事会を決議の省略(書面決議)により開催し、日本植生(株)の新入会員入会の件について全員一致で承認された。

- ・ **第43回理事会** (2024年9月10日)

上記理事会を決議の省略(書面決議)により開催し、中央復建コンサルタンツ(株)の新入会員入会の件について全員一致で承認された。

- ・ **第44回理事会** (2024年9月27日)

上記理事会を決議の省略(書面決議)により開催し、PUMPMAN(株)の新入会員入会の件について全員一致で承認された。

- ・ **第45回理事会**

開催日:2024年10月31日 場所:雨水協会会議室 Web併用

理事総数10名 出席理事数10名(うち1名Web参加) 出席監事2名

議案(決議事項)

第1号議案『下期 役員報酬額承認』の件
(報告事項)

- ① 役職理事の職務執行状況報告
- ② 第40回技術講習会の開催について

◇決議事項1議案については、審議の結果、事務局原案のとおり承認された。

・第46回理事会

開催日：2025年3月21日 場所：雨水協会会議室 Web併用

理事総数10名 出席理事数10名（うち1名Web参加） 出席監事2名

議案（決議事項）

第1号議案 『入会伺い』（賛助会員）の件

第2号議案 『令和7年度事業計画及び収支予算書等承認』の件

第3号議案 『令和7年役員報酬案承認』の件

第4号議案 『第14回定時社員総会の日時及開催場所並びに目的事項等』の件

第5号議案 『会費改定案』の件

（報告事項）

① 役職理事の職務執行状況報告

② 令和6年度決算見込みについて

③ 技術評価認定制度の見直しについて

④ 新公益法人制度について

⑤ 新規事業テーマの検討・実施について

◇決議事項5議案については、審議の結果、第1号議案については入会承認、その他の議案については事務局原案のとおり承認された。

（3）常設委員会等 （ ）内は開催回数と開催日

① 企画委員会

委員長：日本工営（株） 内山雄介

（7回：6/7, 7/5, 8/6, 9/11, 11/13, 12/1, 2/12） 対面・Web併用

② 編集委員会

委員長：芝浦工業大学 教授 宮本仁志

（4回：【第150回】6/6, 【第151回】9/17, 【第152回】12/12, 【第153回】3/10） 対面・Web併用

③ 技術評価認定委員会

委員長：群馬大学 大学院理工学附 教授 若井明彦

（4回：8/9, 10/28, 12/18, 3/19）

④ プラスチック製地下貯留浸透施設普及部会

（2回：6/17, 12/23） Web会議

⑤ GIを考える勉強会

座長：物林（株） 勝田幸仁朗

（11回：4/25, 5/28, 6/24, 8/9, 9/19, 10/15, 11/27, 12/24, 1/27, 2/26, 3/24） 対面・Web併用

⑥ 調整池イノベーションエコシステム研究会

座長：日本工営（株） 松田貞則

（11回【第8～18回】：4/22, 5/28, 6/25, 7/24, 8/27, 9/24, 10/29, 11/25, 12/24, 2/7, 3/18） 対面・Web併用

3. 調査、研究、開発

(1) (都市河川流域の) 水循環系健全化方策の検討

① 新たな製品、構造物およびシステムの開発と実用化

- ・海外における先行事例を参考にした日本の気候・土壌に即し保水・透水能力を保障できる地盤改良の効果検証に加え、踏圧負荷の状態でも浸透能を低下させず、雨水流出抑制量を担保できる土壌改善方法について、川崎市の協力のもと王禅寺ふるさと公園にて6月27日から現地試験を実施中(10/16 現場計測)

【(公財) 都市緑化機構G B M共同研究会】

② できる限り自然を活かした効果的な方策(緑地の持つ保水機能評価)

- ・グリーンインフラ勉強会(11回開催)
- ・東京都あまみずグリーンインフラ検討委員会(8/28, 1/23, 2/4, 3/3)
- ・インフィルトロメータ法を用いた表層浸透能動画解析ソフトの開発
- ・グリーンインフラ施設における雨水流出抑制機能の定量評価に関する資料整理
(受託: 日本下水道推進機構)

③ 雨水の水質制御

活動なし

(2) 雨水貯留浸透施設の効果評価の検討

① 開発地域の特性に見合った適切な貯留浸透施設の計画設計の検討

- ・グリーンインフラ推進に向けた雨庭導入に係る検討(受託: UR 都市機構)
- ・既存雨水貯留浸透施設の機能評価及び改良案検討(受託: 高砂熱学工業)
- ・石崎川プラムナードにおけるグリーンインフラ施設の効果検証調査(受託: 横浜市)
- ・農業ハウス建設に伴う雨水流出抑制のための雨水浸透施設建設に向けた浸透設備基本仕様検討
(受託: キーウェアソリューションズ)

② 流域、都市、開発地域等での効果について、解析的な評価手法や簡便な評価手法を適用した検討

- ・透水性舗装の流出係数算定ソフトの作成(受託: 日本興業)
- ・既存雨水貯留浸透施設内水位再現モデルの検討(受託: 高砂熱学工学)
 ▶ 観測水位データから得られる浸透能力係数による浸透量を評価

③ 現地浸透能力調査

活動なし

(3) 全国における貯留浸透施設普及状況の実態把握と普及方策の検討

① 雨水・再生水利用施設データマップの維持・管理

② 「東京雨水しみこみプロジェクト」への協力

九都県市^{*}が連携・推進している上記プロジェクトについて業界団体として協力。

^{*}埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市

③ 「雨水利用事例集」(発行: 国土交通省)の更新

令和2年に改定発行された雨水利用事例集の更新作業に伴い、雨水利用施設の調査およびアンケートを行った。
(受託: 内閣官房水循環政策本部)

(4) 雨水貯留浸透技術のアジアモンスーン地域への展開検討

① JICA「民間企業海外展開支援事業」

- ・インドネシア国雨水による浸水被害軽減のためのポーラスコンクリート製品導入に係るビジネス化実証事業（受託：北海道ポラコン）

第1回渡航（9/1～9/2）、第2回渡航（10/20～10/26）、第3回渡航（11/1～11/17）、第4回渡航（2/9～2/15）

② 「Indian Plumbing Today NOVEMBER 2024」への寄稿

Indian Plumbing Association（インド管工事協会）発行の月刊誌「Indian Plumbing Today」へ日本の雨水貯留浸透技術について紹介した「Reducing Urban Flooding through Effective Rainwater Harvesting」を寄稿し、掲載された。

4. 雨水貯留浸透技術を活用した施設に関する技術的基準の作成

(1) 新たな製品・工法・システム等（技術評価を取得した類似製品及び工法など）に関する技術指針・マニュアル等の整備を行う。

① プラスチック製地下貯留浸透施設普及部会

- ・令和5年度実績調査・プラ技術指針改訂についての報告（6/17）
- ・改訂されたプラ技術指針案の解説と改定に伴う今後の対応について（12/23）

② プラスチック製地下貯留浸透施設技術指針改訂

- ・改定案の技術評価認定委員会での審議（8/7, 10/28）
- ・プラスチック製地下貯留浸透施設技術指針（案）令和6年度版の公開（12/27）

③ ポーラスコンクリート浸透施設技術指針策定

活動なし

④ グリーンインフラを考える勉強会の運営

- ・勉強会を11回開催、GI技術の提案先の検討、GI産業展への対応を行った。
- ・神奈川県立吉田島高等学校のグリーンインフラ授業への協力（1/21）

⑤ 雨水貯留浸透施設製品便覧・雨水活用製品便覧の改定版の検討

：雨水の貯留・浸透・利用・蒸発散に関連製品の総合カタログ

活動なし

⑥ 既設調整池イノベーションエコシステム研究会

- ・勉強会を11回開催、具体的な検討を進める候補地（既存調整池）の選定と資料収集、自治体のカバーの事例や意識調査のためのアンケートを実施
- ・無動力によるオリフィス開口の自動制御方法について検討し、その成果の特許出願をおこなった。調整池放流量調整装置とその方法（特願2025-023162, 2/17）

5. 雨水貯留浸透技術の普及啓発活動

(1) 図書等の発行・頒布

① 機関誌「水循環 貯留と浸透」 第132号～134号

特集テーマ 132号「建築×雨水」(6月発行)

133号「国土強靱化×雨水」(9月発行)

134号「未来へつなぐ水循環施策の挑戦 ～総合的な流域水管理に向けて」(1月発行)

② 雨水浸透施設技術指針等発行図書の頒布

頒布数：13種 計677冊 頒布先延べ数：383件

③ 機関紙の電子化・Web公開

「雨水技術資料」及び「水循環 貯留と浸透」のバックナンバーをホームページ上で無料公開(3月31日現在登録数：483アカウント、昨年度より132アカウント増)

④ 雨水貯留浸透技術評価認定技術のPR

・PR動画等の公開：HPの「雨水貯留浸透技術評価認定取得技術(工法)・製品の検索」でWeb閲覧

(2) 技術講習会・施設見学会の開催

第40回 雨水貯留浸透技術講習会

テーマ：動き出している特定都市河川～特定都市河川指定と雨水貯留浸透技術～

開催日時：2024年11月22日 13時～17時30分 開催方式：対面開催

開催場所：ベルサール神保町 Room 3+4+5 参加者数：86名(講演者含む)

※土木学会継続教育(CPD)プログラム認定講習会

題目	講師
河川行政に関する最近の話題と 特定都市河川制度の動向	国土交通省 水管理・国土保全局治水課 課長補佐 栗本 慧
地域を“みず”から守る。 吉田川・高城川 命と生業を守る流域治水の推進 <small>なりわい</small>	国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所 副所長 石井貴範
「最上川水系石小沢川」の特定都市河川指定に 至る経緯と現状の取り組みについて	山形県 中山町 総務広報課 防災安全対策室 室長 村山 聡
「利根川水系中川・綾瀬川流域」 ／総合治水から特定都市河川への展開 (指定までの経緯や調整事項など)	埼玉県 県土整備部 河川砂防課 計画調査・流域治水担当 主査 中村千賀
全国初、雄物川水系太平川流域での 「内水被害等軽減対策計画」の登録	秋田県 建設部 河川砂防課 調整・企画管理チーム チームリーダー 菅原敏弘
全国初となる貯留機能保全区域の指定	奈良県 県土マネジメント部 河川整備課 河川計画係 主任主事 湯浅雅人
調整池容量計算の解説 ～検討フローとExcel操作～	雨水貯留浸透技術協会 企画委員長 日本工営(株) 流域マネジメント室 室長 内山雄介
雨水貯留浸透施設の最前線 ～既設調整池の上部有効利用と洪水 調節機能のパワーアップに関する提案～	雨水貯留浸透技術協会 屋井裕幸
雨水貯留浸透施設に関するQ&A	雨水貯留浸透技術協会 企画委員 積水化学工業(株) 有山裕介

◇『見学会』は未実施

(3) 普及・啓発のための雨水貯留浸透施設の展示・セミナーの開催等

* あまみず交流会

企画委員会の発案により、会員の多様性を強みとし、個々の企業では得られなかった新たなニーズや人脈、情報を発掘し、雨水ビジネスの発展、新規顧客開拓、会員間での協働ビジネスにつなげていくための、気軽な情報・意見交換（サロン）の場として「あまみず交流会」を定期開催（毎月第二水曜日）。

回/参加人数	開催	話題提供ほか	
十八雨 (12名)	4/24	コラボで「流域治水」	日本工営
十九雨 (16名)	5/8	天水利用による挑戦・機能性プラスチックの役割	雨酒 PJ・帝人
二十雨 (15名)	6/12	世界水フォーラムに見る水に関する動向	東京建設 コンサルタント
二十一雨 (11名)	8/21	流域治水の推進に向けて ～校庭貯留施設の現状を踏まえて～	三井共同建設 コンサルタント
二十二雨 (23名)	9/11	流域治水の推進に向けて ～治水と利水の両立を考える～	雨水協会
二十三雨 (21名)	10/9	生物多様性に配慮した緑化樹木の新たな取り組み	東急建設
二十四雨 (16名)	11/13	自然エネルギーを利用した 雨水貯留施設の高機能化技術	ベルテクス
二十五雨 (17名)	12/11	ノンポイント汚染対策製品：ヒュームセプター	イトーヨーギョー
二十六雨 (15名)	1/8	2025年 賀詞交歓会	
二十七雨 (13名)	2/12	自由形状・大口径高圧噴射攪拌工法 マルチサークルジェット工法	マルチサークル ジェット工法協会
二十八雨 (7名)	3/12	雨水利用と貯水槽のご紹介	積水アクアシステム

* グリーンインフラ産業展への出展

1/29～31 に東京ビッグサイトで開催された上記展示会へ、GI 勉強会として出展し、GI に関する情報交換、雨水の貯留浸透に関する技術等について PR を行った。

(4) 雨水貯留浸透技術に関する PR 及びパンフレットの作成・配布

- ・水インフラの事典（丸善出版）第VI部の「雨水の流出抑制」と「雨水の有効利用」を執筆
- ・第3回グリーンインフラ産業展（1/29～1/31）での資料配布

(5) 雨水貯留浸透技術に関する問い合わせへの対応

国、自治体、企業、コンサルタント、個人等からの電話、メール等による問い合わせ、相談等に対応した。

- * 横浜国際園芸博政府出展施設の水景施設の蒸発散量の算定と雨水利用についての技術的相談（国土交通省都市局、都市緑化機構 6/26）
- * 次期施設の建設に伴う流出抑制施設の基本設計・実施設計についての相談（印西クリーンセンター次期施設推進室 6/28）
- * 消毒液の原水としての雨水入手の相談（某製薬会社 12/7→2/27 対応）
- * 貯留・浸透量を自動計算する CAD システムに関する相談（某 CAD メーカー 1/30）
- * 雨水浸透柵の浸透量計算について（宇治市役所 建設部治水対策課 2/3）
- * 製品評価認定取得に関する相談（某メーカー 2/6）

- * 技術評価認定取得に関する相談 (某メーカー 2/18)
- * プラ貯留槽の遮水シートの耐久性について (京都府 山城北土木事務所 2/19)
- * 雨水浸透施設と地下水の離隔 (0.5m 以上) について (茨城県 下妻市資産経営課 2/25)
- * 広場等における雨水浸透効果の算定方法について (埼玉県 河川砂防課 3/11)

(6) 雨水貯留浸透技術に関する社外講演及び学会発表 (海外含む)

① 市民団体や関係機関等の依頼による講演活動

- * 全国建設研修センター宅地造成技術講習講師派遣
: 「宅地造成と雨水流出抑制」 (7/7)
- * 水循環システム事業協会の総会にて講演
: 「気候変動 (豪雨・暑熱) 対策に資する雨水貯留浸透技術を考える」 (9/19)
- * 日本雨水資源化システム学会年次大会発表
: 「雨水浸透施設の流出抑制効果の簡易計算法について」 (11/3)
- * 「雨にわをつくろう! ~地域で始める雨への備え」 シンポジウム
(主催: NPO 雨水まちづくりサポート) にて講演
: 雨にわの計測と効果評価について (12/22)

② 海外国際会議等での発表

実施なし

(7) 雨水貯留浸透技術のデータベースの作成及び情報提供

2023 年度地下雨水貯留浸透施設施工実績

貯留槽 : 1,189 件 441,774.4 m³

浸透槽 : 3,988 件 517,041.5 m³

貯留浸透槽 : 6 件 2,195.5 m³

調査結果詳細については、機関誌やホームページで公開。

6. 雨水貯留浸透技術評価認定

(1) 技術評価の実施 (新規・更新) の実施

平成 8 年 6 月 1 日に雨水貯留浸透技術評価認定制度がスタートし、昨年度までに技術評価認定 48 件、OEM 版 3 件、製品評価認定 28 件、技術推薦 6 件を実施した。

今年度の状況は、下記のとおりである。

【令和 6 年度評価認定書交付状況等】

* 技術評価認定

- ・ スタジアム工法 (新規) リス興業
- ・ Dotcon 工法 (新規) PUMP MAN
- ・ クロスウェーブ工法 (追加更新) 積水化学工業
- ・ ジオプール工法 (追加更新) 日東商事、日東ジオテクノ、佐藤渡辺

* 製品評価認定

- ・ 貯留浸透基盤材 (新規) ガラス発泡資材事業協同組合 (審査中)

*その他

プラ指針改訂に伴う認定期間延長 4 件

- | | |
|--------------------|----------|
| ・ハイドロスタッフ工法 | 城東リプロン |
| ・U S Tシステム (ハイドロ型) | 物 林 |
| ・シンシンブロック槽 | シンシンブロック |
| ・プラダム工法 | 秩父ケミカル |

製品評価更新 3 件

- | | |
|--------------|------|
| ・ハニカムトレンチ | エバタ |
| ・ゴミトールプラス | エバタ |
| ・O Kザールフィルター | オーイケ |

認定抹消

- ・技評 18 号 ポカラ式雨水地下貯留施設 (12/31)

(2) 技術評価認定制度の見直し、工法・製品に係る実施要項の統一化他の検討

- ・技術評価認定制度の見直しについては企画委員会にて検討中

7. 雨水貯留浸透技術に関する関係機関への協力、提言等

① 公共機関への協力提言等

* グリーンインフラ (GI) 官民連携プラットフォームへの協力

- ・運営委員会への委員派遣
- ・技術部会への委員派遣
- ・グリーンインフラ産業展実行委員会への委員派遣
- ・グリーンインフラ産業展メインブース展示協力

* 第 19 回なごや水の環復活推進懇談会への水循環アドバイザーの派遣 (8/20)

② 海外からの調査団等の受け入れ、国際交流等

- ・(公財) 北九州国際技術協力協会からの講師依頼

： JICA 国際研修「地域の水問題を解決する実践的統合水資源管理」への水循環アドバイザーの派遣 (9/10)

③ 外部組織との連携による普及・調査研究業務の実施

* 都市緑化機構

- ・ G B M 共同研究会 (4/26, 6/11, 7/4, 8/5, 9/4, 9/26, 10/26, 1/9, 3/10)

* 雨水基準制度研究会

- ・ 第 5 回雨水基準制度シンポジウムの開催 (5/17)

* 雨水ネットワーク運営への協力

- ・ 雨水ネットワーク全国大会 in すみだ実行委員会
- ・「第 14 回 雨水ネットワーク全国大会 2024in すみだ」開催 (8/3, 8/4)
- ・ 2025 年度の全国大会開催に向けた実行委員会づくり

8. その他協会の目的を達成するために必要な事業

- ・「武蔵野台地における『雨にわ』による NbS の普及・実証事業」のモニタリングの実施と分析（受託：NPO 雨水まちづくりサポート受託）

以上

※令和 2024 年(令和 6 年)度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定される付属明細書について、「事業報告の内容を補足する重要な事項」がありませんので作成していません。